



全自交東京

全国自動車交通労働組合
東京地方連合会
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9
TEL03-3408-0876
FAX03-3408-0880
発行責任者 書記長 本田明広

東京地連春闘妥結報告

日交労ハイヤー ベア1万円+定昇1800円を勝ち取る

「賃上げなき産業に未来なし」を合言葉に、全自交労連の掲げる、大幅な賃上げ方針をもとにスタートを切った『2025春季生活闘争』は、回答指定日を迎え、続々と妥結の報告が届けられました。中でも日交労は、ハイヤーでベア10,000円、00円+定昇1,800円、タクシーでは賃金は現行維持だったものの、業績評価一時金において、新設の最高ランク75,000円支給、乗客嘔吐時に利用者から20,000円請求の明確化(全額乗務員に支給)、営業車の1割に完全包囲型

行賃金制度の維持を確認し、別途、一時金などの増額を勝ち取っており。また、少子高齢化の影響で、今後、各業界で労働力の争奪戦が激化する。とが予想される状況下で、魅力のある賃金労働条件と職場環境を提

から事業継続が困難に陥るでしょう。また、労組としても、組織率の低下が叫ばれる中、魅力ある賃金労働条件を勝ち取らなければ、組織としての意義と必要性が薄れてしまいかねません。

政治の力でライドシェアを阻止
われわれハイタク労働者にとり永年にわたって最大の懸案であった『ライドシェア』の24時間運用が決定したこと

われわれハイタク労働者にとり永年にわたって最大の懸案であった『ライドシェア』の24時間運用が決定したこと

は、ライドシェア推進勢力が息を吹き返し、再び危機が訪れる事が懸念されます。今夏に行われる『参議院議員選挙』では、われわれの政策に賛同する政治勢力を全力で応援していく事が重要です。とりわけ参議院国土交通委員会の理事、タクシー政策議員連盟の事務局長として、ライドシェア新法阻止や地域公共交通を守る運動の先頭で突き進む、立憲民主党 もりやたかし議員を、ふたたび国会の議場へと送り出しましょう。

全自交東京地連加盟単組 主な妥結状況

荏原交通ユニオン

3月13日 現行賃金制度維持◇主運藤特別賞与 最高25,000円(乗務回数、迎車回数、成績、事故の期間実績による)◇労使の事前協議制を確認

京王自動車労働組合

3月24日 タクシー乗務員：現行賃金制度維持、バス乗務員：基本給ベア7,600円(3.2%)、パート職員：基本時間給ベア45円(3.2%)◇生活改善一時金 タクシー乗務員 一律15,000円、事務員・整備職正社員・嘱託社員 10,000円、パート社員5,000円

日交労働組合

3月31日 タクシー：現行賃金制度維持◇ハイヤー：ベア10,000円(本給5,000円・手当5,000円)、定昇1,800円◇タクシー業績評価一時金に最高ランク(支給75,000円を新設)◇ハイヤー年間一時金620,000円(前年比20,000円増、別途年功加算有)◇タクシー車の1割に完全包囲型防犯版を導入し女性・新人に優先配備◇車内嘔吐時に利用者20,000円請求の明確化(全額乗務員に支給)◇運賃改定時に交通費実費支給の方向で合意

大和自動車交通労働組合

4月1日 定昇全職種300円◇賞与 タクシー前年同基準、ハイヤー440,000円(+20,000円)、職員450,000円(前年同額)、工員415,000円(前年同額)◇自動車整備士資格手当を各級ごとに増額(+500~1,000円)◇タクシー・ハイヤーで連休期間基準額見直し◇ハイヤーで無事故無違反表彰制度を新設◇ハイヤーで出勤時のゴルフ送迎補償額を増額(+2,000円)

帝都自動車労働組合

4月15日 賃金：タクシー現状維持◇ハイヤー定昇3,200円(昨年+500円)・技工、工員定昇2,700円(昨年+500円)◇賞与・ハイヤー575,000円(昨年+20,000円)・技工年間3.1ヵ月(昨年+0.1ヵ月)◇特別一時金・タクシー5,000円~80,000円(期間営業による)◇その他・交通費支給上限引上げ30,000円→34,000円(タクシー・技工・職員)・タクシー帰路高速会社負担改定(首都高速川口線追加)、ハイヤー乗換手当継続1,000円、自動車検査員及び検査主任手当支給基準改定(65歳超短時間労働者対象化)・扶養手当支給基準改定(職員)：第一扶養者15,000円(現行+5,000円)、第二、三、四扶養者3,000円(現行+500円)※第四扶養者は新設

全自交東京地連は次の参議院選挙で

塩村 あやか 参議院議員

(東京都選挙区)

もりやたかし 参議院議員

(比例代表)

を応援しております

※ 参議院選挙の比例代表では、投票用紙には政党名だけでなく、当選させたい候補者名を記入することができます。

第22回東京都議会議員選挙 東京地連推薦候補が決定

全自交東京地連は4月2日、第5回執行委員会において、6月22日投開票予定の東京都議会議員選挙において、東京地連が推薦する20名の候補者を決定しました。

推薦が決定した各候補者とは、東京地連が定める政策協定書の内容において合意したうえで政策協定を締結しております。

今回の東京都議会議員選挙は、その後行われる参議院選挙の前哨戦ともいえ、今後の政局においても大変重要な意味合いを持ちます。

また、都議会自民党会派の約3500万円もの不記載問題や、先の都知事選で躍進した石丸伸二氏率いる「再生の道」の動向、さらには年収の壁で話題の玉木代表の国民民主党

の勢いなど、何かとマスコミでも注目されております。

しかし、世間の喧騒に惑わされることなく、われわれ全自交東京地連に集うものとして、ハイタク産業労働者の職場と生活に加えて、地域公共交通の安全・安心を守るためにも、東京地連の掲げる政策に賛同いただける候補者を全力で応援し、全

小金井市議会議員選挙 推薦候補者の両名とも当選

員を都議会の議場へと送り出すことが必要不可欠となります。

なお、推薦候補者を政党別でみると、立憲

2025年3月16日に告示、同23日に投開票が行われた小金井市議会議員選挙（定数24）において、東京地連が推薦した立憲民主党公認候補の岸田正義氏（現職）と吉良紀子氏（新人）は、見

民主党が最多の13名、都民ファーストの会が5名、国民民主党とミライ会議が1名ずつとなっておりま

事出選を果たしました。この結果、立憲民主党3名、国民民主党1名、無所属1名の計5名による会派が結成され、第一会派と

なりました。これもひとえに、三多摩地区連をはじめとする組合員の皆様の多大なるご支援・ご協力のお陰であると心より感謝申し上げます。

今回の選挙では、両候補者とも、市民の皆様の声を真摯に受け止め、小金井市の発展と市民生活の向上に貢献していくことを強く訴え、選挙戦を闘ってまいりました。

吉良紀子氏
221票（4位）

岸田正義氏
1643票（6位）



当選を果たした、右から岸田正義氏(立民)、吉良紀子氏(立民)、鈴木成夫氏(立民)

全自交東京地連の定める政策協定書の項目

1.都政に臨む基本政策

- (1)情報公開を徹底し、透明性のある都政運営と行財政改革に努める。
- (2)都民・事業者・行政との協働による東京都の運営を実践する。
- (3)少子・高齢化社会に即応した教育・福祉・医療政策の充実を図る。
- (4)環境先進都市をめざし、災害に強い都市づくりを推進する。
- (5)スポーツと文化の振興を図る。
- (6)交通環境の整備と、公共交通機関の充実を図る。
- (7)消費税増税反対の姿勢を貫き、国民生活の安定を図る経済政策を推進する。

- (8)再生可能エネルギー社会を構築し、原子力に依存しない社会の実現を目指す。
- (9)政策立案において、都民の知恵や民間の創意工夫を積極的に取り入れ、有識者などの提言を積極的に生かした都政運営に努める。
- (10)高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らすことのできる環境整備に努める。
- (11)生活困窮者の自立支援を積極的に進め、総合支援政策を行う。
- (12)反戦を基本として、平和・人権・国民主権を守る政策を推進する。

2.産別要求項目

平成30年第3回東京都議会定例会に於いて採択された、白タク行為への更なる対策強化を求める意見書を尊重し、ハイタク労働者の雇用と生活を脅かし、地域公共交通の崩壊に繋がる形でのライドシェア（白タク）合法化を阻止し、今後も持続可能な地域公共交通機関としての安全・安心なタクシーを守るよう積極的に取り組む。

3.政策に向けた協議

この協定書に基づく政策の実現を図るために、必要に応じ協議または懇談を行う。

「LPGガスタンド」の苦況

燃料充填のために長距離移動を余儀なくされる現実が

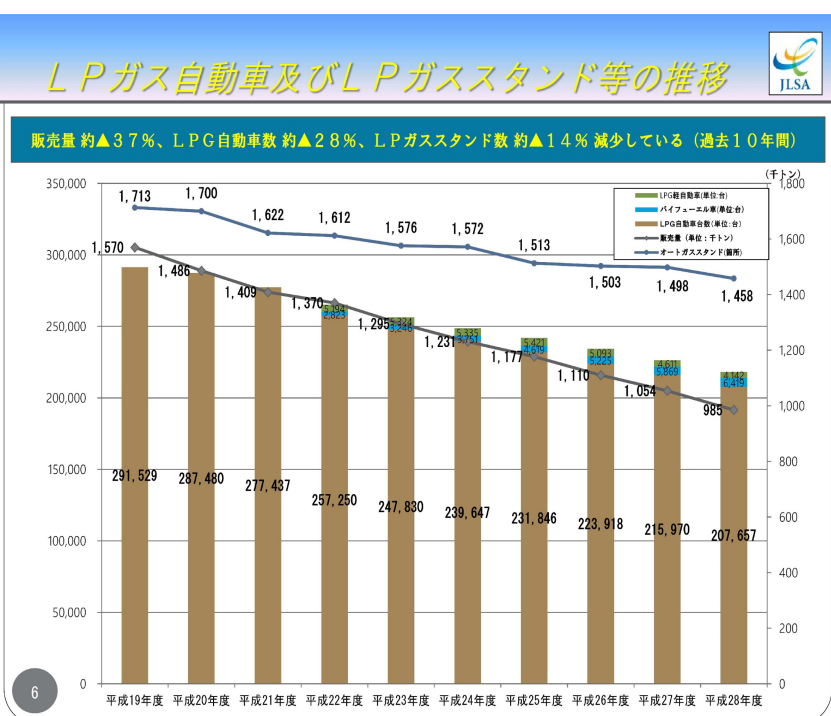
を指摘します。

岸田正義氏は、これまでの経験と実績を活かして、市民の皆様の実現に向けて、引き続き尽力してまいります。

AXIの導入により、タクシー車両の燃費が各段に良くなり、ガスの販売量が減少していること。さらに、保守点検などに掛かる莫大な経費がスタンドの経営を圧迫してしまつたという事です。

業界団体ではLPGスタンドをいかに維持していくかが課題になっています。

東京地連では、連合東京などを通じて、東京都に対し、スタンド維持への支援などの政策提言を行なっております。



※ 参考データが古いデータしか公開されてませんでした